

平成24年度JCAP会合



新潟県のカーボン・オフセットの取組

平成25年3月21日

新潟県 県民生活・環境部 環境企画課

新潟県カーボン・オフセット制度のねらい



制度のねらい

- 2007年度の県内の温室効果ガス排出量は、2,793万t-CO₂で基準年(1990年度)比11.1%増加
- 県内の森林面積は、およそ86万ha(県土の69%)

「新潟県カーボン・オフセット制度」を構築し、普及

- ◎ 県内事業者、県民に地球温暖化防止行動の取組機会を提供
- ◎ 県内外のカーボンオフセット資金による県内の森林整備の促進
- ◎ トキの生息環境整備を始めとした森林生態系の保全を支援
- ◎ 水源のかん養、洪水・山崩れなどの災害防止など県土の保全

新潟県カーボン・オフセット制度の特徴



信頼性の高いオフセット・クレジットの発行

- 環境省から「都道府県J-VERプログラム認証」を取得
 - 国が発行するJ-VERと同列にJ-VER登録簿に登録
- 地域の実態を把握している県の専門職員もプロジェクトの内容を審査
 - 適切な森林整備の実施や持続性の担保を十分に確認

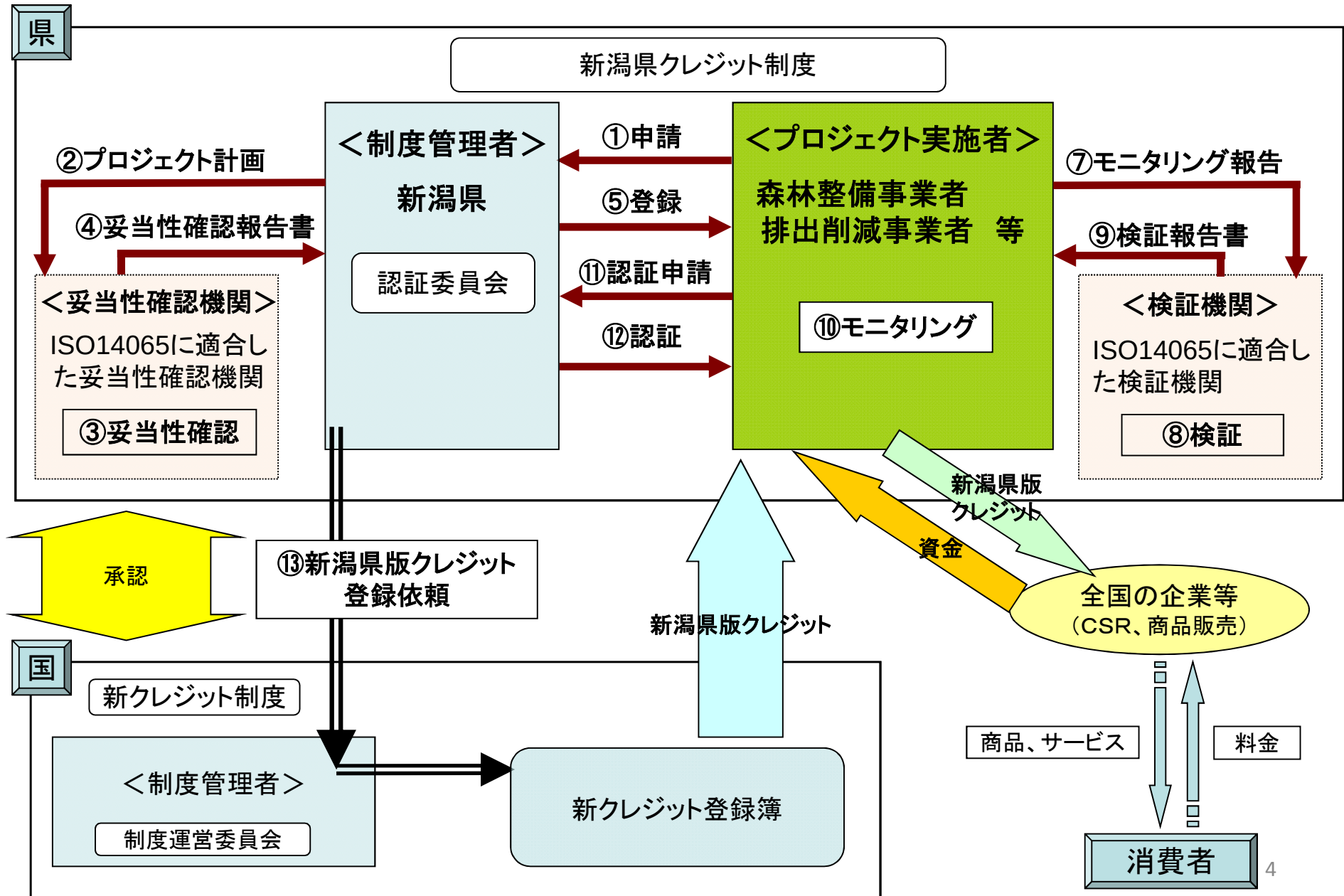
豊かな森林が育む効果も明確にしたプロジェクトの創出

- 森林整備の「物語」を重視
 - ・野生復帰を目指す「トキ」の生息環境の整備
 - ・地域の特産品を産む「雪」や「水」を守るための森づくり など



全国の企業が利用したくなるクレジット

新潟県版クレジット制度の仕組み(案)



新潟県J-VERの活用事例（H25年度実施予定）

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<http://www.aioinissaydowa.co.jp/>

南魚沼市が交通事故の削減を目的に実施する「6つの視点によるヒヤリハットマップ」作成を後援し、このヒヤリハットマップの取組での交通事故件数削減割合に応じてクレジットを購入し、カーボン・オフセットの取組を実施。

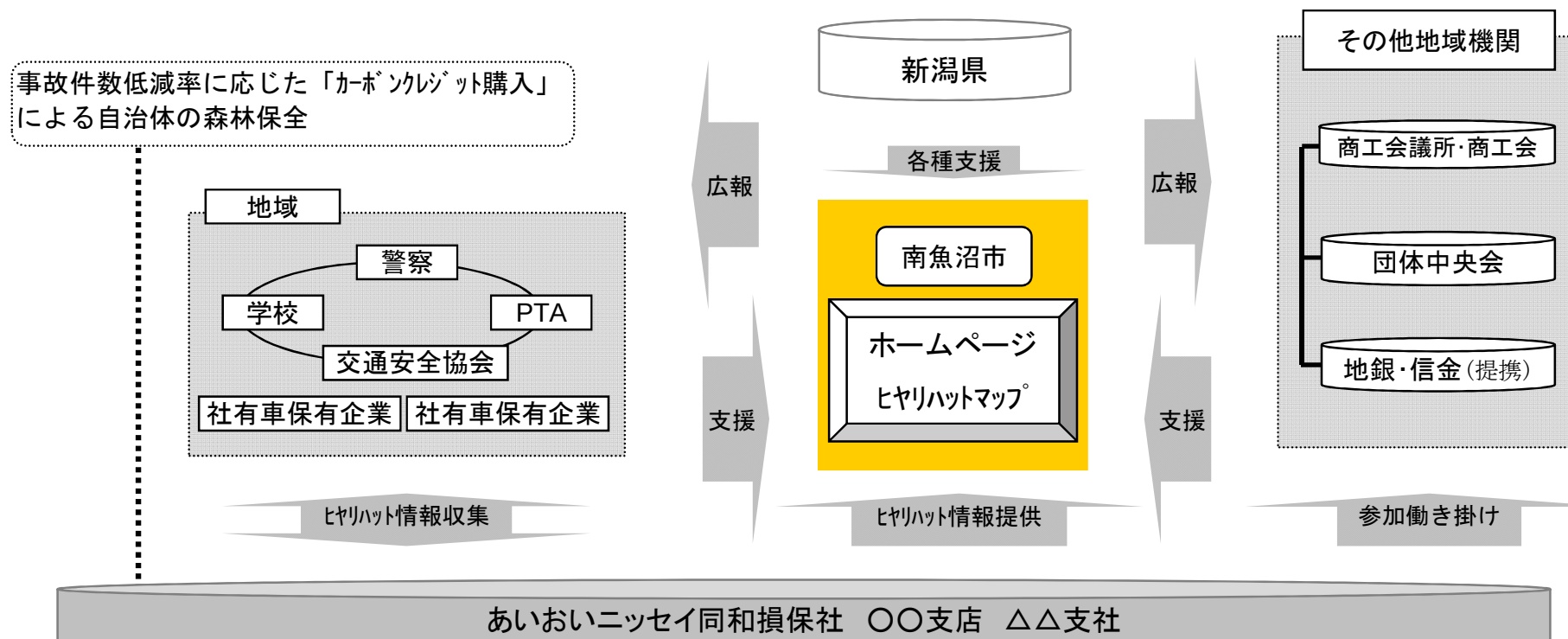


ヒヤリハットマップ作成アンケート
（南魚沼市ホームページより）



ヒヤリハットマップ(イメージ)

南魚沼市ヒヤリハットマップの作成支援スキーム



【事業の特徴】

- 官民一体となった交通事故件数削減の取組
- 事業効果に応じた、クレジットの購入等により地域環境保全への資金還元
- 民間企業がヒヤリハットマップ作成のためのノウハウと資金を提供

南魚沼市ヒヤリハットマップ作成事業役割分担



	取組体制の構築	ヒヤリハットマップの 作成・活用	取組成果の評価
南魚沼市	○ 関係地域団体への参加依頼 ○ マスコミ等への周知	○ ヒヤリハット情報の収集（学校、交通安全協会等の地元関係団体） ○ ヒヤリハットマップの公表 ○ ヒヤリハットマップの普及による事故防止の取組	○ 事故件数の推移の把握
あいおい ニッセイ 同和損保	○ チラシ・ポスターの作成 ○ マスコミ等への周知	○ 情報収集アンケート用紙の作成 ○ ヒヤリハット情報の収集（民間企業等） ○ ヒヤリハットマップの作成 ○ ヒヤリハットマップの公表 ○ ヒヤリハットマップの普及による事故防止の取組	○ 事故件数低減率に応じクレジットを購入

《本件についてのお問い合わせ先》

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 広報部 野口課長
電話:03-5789-6315

新潟県J-VERの活用事例



イオンリテール株式会社 北陸信越カンパニー

<http://www.aeonretail.jp/>

【会議・イベント開催オフセット】

県内のイオンで新潟フェア期間中、お客さまから投函されたブルーシート総額の1%相当額を拠出のうえ新潟県J-VERを購入し、お客さま公募による「新潟エコツアーCO₂ゼロチャレンジ」で排出されるCO₂をオフセット。

(2012年は114トンの新潟県J-VERを購入し、5月に佐渡、10月に阿賀でエコツアーを実施)



- お客さま参加型の活動 「ブルーシートキャンペーン」
- ・お客さまからレシートを専用ボックスに投函していただく。
 - ・レシート合計金額の1%相当を拠出してJ-VERを購入する。



- お客さま体験型の活動 「新潟エコツアー」
- ・トキの餌場となるビオトープづくりに参画。
 - ・土をおこし、水をひき親子で踏み耕していく。8

新潟県J-VERの活用事例

東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社

http://www.jrniigata.co.jp/120427%20carbon_offset.pdf

【商品使用・サービス利用オフセット】

「SLばんえつ物語」号の運行により排出されるCO₂の一部を「阿賀悠久の森クレジット」でオフセット。
また、SL車内のイベントスペース(展望車両)において、車窓から実際の森林を眺めながら、森林間伐プロジェクトの必要性やカーボン・オフセットの取組について、乗客への説明を実施した。



「SLばんえつ物語」号
写真提供: JR東日本 新潟支社



新潟



eco train

2012年4月27日
新潟支社
つなげよう、
日本。

地球温暖化防止に向けて 「阿賀悠久の森」間伐プロジェクトに参加します。

JR東日本新潟支社では、環境の取組みの一つとして、「SLばんえつ物語」号が走る阿賀悠久線沿線の阿賀町で取り組んでいる「阿賀悠久の森」間伐プロジェクトに参加します。

当社が阿賀町より取得する「阿賀悠久の森クレジット」は、「新潟県カーボン・オフセット制度」の一つとして、阿賀町が推進する森林整備事業である「千年先の未来に残せる森(悠久の森)づくり」に活用され、温室効果ガスの削減に繋がっています。

☆阿賀悠久の森☆

★イベント★

【日 時】 2012年5月13日(日)
【内 容】

(1) 「SLばんえつ物語」号出発セレモニーを行います。(9:23~)

①会 場: 新潟駅、6番線・7番線ホーム 新潟寄り
②スケジュール予定

- ◆主催者あいさつ
- ◆新潟県より「新潟県カーボン・オフセットシンボルマーク」交付
- ◆記念撮影
- ◆出発合図

(2) 車内で阿賀町が推進する「阿賀悠久の森」間伐プロジェクトについて説明会を開催します。

◆会 場: 「SLばんえつ物語」号イベントスペース4号車
◆説明者: 阿賀町役員 農林職工課

(3) 阿賀悠久線沿線のワインボトルをリユースした「100%SL Style Bottle」を4月28日から、「SLばんえつ物語」号車内に販売します。

※阿賀悠久線は、「新潟県カーボン・オフセット制度」の一つである、「トキの森プロジェクト」を推進しています。



新潟県カーボン・オフセット



【お知らせ】

当日、「SLばんえつ物語」号にご乗車されたお客さまにも、このプロジェクトへのご参加を呼びかけ募金を実施します。お客さまからお預かりした募金は、当社が「阿賀悠久の森クレジット」の取得に充当させていただきます。

C A R B O N O F F S E T

トキの森づくりを

応援しています



ご清聴ありがとうございました

【問い合わせ】

新潟県 県民生活・環境部 環境企画課

TEL: 025-280-5150 (直通)

E-mail: ngt030150@pref.niigata.lg.jp¹⁰